

6/20  
朝日

# 沖縄の怒り「限界超えた」



## 米海兵隊撤退求め決議

沖縄県うるま市の女性を殺害したなどの疑いで元米海兵隊員で軍属の男が逮捕された事件に抗議する県民大会が19日、那覇市の奥武山陸上競技場で開かれた。

主催者発表では約6万5千人が参加し、県民の怒りと悲しみの思いの強さを示した。沖縄からの米海兵隊の撤退などを求める決議を採択した。

▼2面「あふれる抗議、10面「社説、31面「痛み感じて

### 県民大会6.5万人 主催者発表

大会は、翁長雄志知事を支える社民や共産などの政党や企業関係者らでつくるグループが主催。米軍施政下を生きた高齢世代や、若い家族連れらの姿もあった。団体でバスを借り切って県内の遠隔地から訪れた人たちもいた。

参加者は、「被害女性の父親が寄せた「米軍人、軍属による事件、事故が多い中、私の娘も被害者の一人となりました。次の被害者を出さないためにも、全基地撤去、辺野古新基地建

設に反対。県民が一つになれば可能だと思っています」とのメッセージが読み上げられた。

最後に、在沖海兵隊の撤退のほか、県内移設によりない米軍普天間飛行場の閉鎖・撤去▽遭難者への謝罪や補償▽日米地位協定の抜本的改定、を求める決議を採択した。

今回、県議会の野党である自民や「中立」の公明などは、決議案の内容や運営組織づくりを一方的に進められたとして参加せず、1995年のような「超完

派」での開催にはならなかつた。翁長氏は、「95年の大会の際に」二度と繰り返され事故に抗議する集会が数万人規模で開かれたのは、95年の少女暴行事件を受けて開かれた県民総決起大会（主催者発表で8万5千人）

参加以来。あいさつに立った翁長氏は、「95年の大会の際に」二度と繰り返されないと誓いながら、政治の仕組みを変えることができなかつた。知事として痛恨の極みであり、大変申し訳ない」と述べた。

大会は、米軍属の男が最初に逮捕されて3日後の5月22日、翁長氏を支持するグループが開催方針を決定。グループは、大会の決議を日米両政府などに送るという。  
（上遠野郷）

■ デジタル版に動画

# 沖縄

# あふれる抗議

時刻批判

感らない米軍基地、繰り返される犯罪。19日に那覇市で開かれた県民大会に予想を超える人が集まつた背景には「沖縄の悲しみと怒りが、なぜ本土に伝わらないのか」という沖縄側のいだらちがある。安倍政権は新たな反基地運動のうねりにつながるなか神経をとがらせている。▼1面参考

## 予想超す人集結

翁長知事「負けてはいけない」

海南明けの強い日差しが照りつける緑のグラウンドの多くの人が、喪服や黒っぽい服を着て臨んだ。主催したのは、翁長雄志知事。支持する社民や共産などの政党や企業などでつくる「オール沖縄会議」。

労組なども賛同をかけたが、予想を上回る約5千人が、参加者（主催者発表）が参加し、会場のグラウンドの外に人が集られた。

60台以上のバスを連ねるなどして沖縄本島の各地や離島から集まつた人たち一人は「動員だけではなくて、会場のグラウンドの外に人が集められない。県民は怒り、悲しんでいる。その思いを表す掲が求められていたのだろ」と語った。

県警によると、1972年までに、米軍の犯罪事件

海南明けの強い日差しが

照りつける緑のグラウンドの多くの人が、喪服や黒っぽい服を着て臨んだ。主催したのは、翁長雄志

知事。支持する社民や共産などの政党や企業などでつくる「オール沖縄会議」。

労組なども賛同をかけたが、予想を上回る約5千人が、参加者（主催者発表）が参加し、会場のグラウンドの外に人が集められない。県民は怒り、悲しんでいる。その思いを表す掲が求められていたのだろ」と語った。

県警によると、1972年までに、米軍の犯罪事件

海南明けの強い日差しが照りつける緑のグラウンドの多くの人が、喪服や黒っぽい服を着て臨んだ。主催したのは、翁長雄志

知事。支持する社民や共産などの政党や企業などでつくる「オール沖縄会議」。

労組なども賛同をかけたが、予想を上回る約5千人が、参加者（主催者発表）が参加し、会場のグラウンドの外に人が集められない。県民は怒り、悲しんでいる。その思いを表す掲が求められていたのだろ」と語った。

県警によると、1972年までに、米軍の犯罪事件

海南明けの強い日差しが照りつける緑のグラウンドの多くの人が、喪服や黒っぽい服を着て臨んだ。主催したのは、翁長雄志

知事。支持する社民や共産などの政党や企業などでつくる「オール沖縄会議」。

労組なども賛同をかけたが、予想を上回る約5千人が、参加者（主催者発表）が参加し、会場のグラウンドの外に人が集められない。県民は怒り、悲しんでいる。その思いを表す掲が求められていたのだろ」と語った。

県警によると、1972年までに、米軍の犯罪事件

## 基地反対の波 政府警戒

参院選目前 静観の姿勢

安倍政権が県民大会を開催したのは、95年にあつた県民総決起大会に続いた。当時は少女暴行事件に対する沖縄の怒りに押され、日米両政府は翌96年普天間の返還合意に向けて動かさるを得なかつた。それから20年余り、安倍政権が普天間の辺野古移設を推進し、翁長県政と全

安倍晋三首相は主要七カ国に面対するなどに今回の

事件は起きた。

政権は「反米軍基地」を訴える県民世論が沸騰しな

いよう、事件が発覚した直後から素早く動いた。元米兵が逮捕された5月19日夜、岸田文雄外相はケネディ駐日大使を外務省に呼び止を求めた。

元米兵は「言語過誤であり、強引に見えた」と抗議。

このため、政権は当面、米政府とは地位協定で特權を保障している米軍施設の運用の見直

安倍政権が県民大会を開催したのは、95年にあつた県民総決起大会に続いた。当時は少女暴行事件に対する沖縄の怒りに押され、日米両政府は翌96年普天間の返還合意に向けて動かさるを得なかつた。それから20年余り、安倍政権が普天間の辺野古移設を推進し、翁長県政と全

安倍晋三首相は主要七カ国に面対するなどに今回の事件は起きた。

政権は「反米軍基地」を訴える県民世論が沸騰しな

いよう、事件が発覚した直後から素早く動いた。元米兵が逮捕された5月19日夜、岸田文雄外相はケネ

ディ駐日大使を外務省に呼び止を求めた。

元米兵は「言語過誤であり、強引に見えた」と抗議。

このため、政権は当面、米政府とは地位協定で特權を保障している米軍施設の運用の見直

安倍政権が県民大会を開催したのは、95年にあつた県民総決起大会に続いた。当時は少女暴行事件に対する沖縄の怒りに押され、日米両政府は翌96年普天間の返還合意に向けて動かさるを得なかつた。それから20年余り、安倍政権が普天間の辺野古移設を推進し、翁長県政と全

安倍晋三首相は主要七カ国に面対するなどに今回の事件は起きた。

政権は「反米軍基地」を訴える県民世論が沸騰しな

6/20  
木曜日

# 沖縄の痛み



共同代表あいさつで涙を流す玉城愛さん=19日午後2時40分

黒い服を身につけた数万人の人たちが、静かに壇上を見つめていた。元米兵が逮捕された事件を受け、那覇市で19日と開かれた沖縄県民大会。犠牲になった20歳の女性を救えなかつたという自責の念、日米両政府への怒り、あまたの被害者を奥に知る悲しみや苦しみ……。様々な思いが会場を覆つた。

▼1面参照

## 被害者 私だったかも 共同代表の女性



犠牲になった女性に祈りを捧げる参加者たち=19日午後2時11分 いすれも那覇市の奥武山陸上競技場、小玉重隆撮影

「あなたの」とを思い、多くの県民が涙し、怒り、悲しみ、言葉にならない重くのしかかるものを抱いている」

名護市の大学に通う玉城

愛さん(21)が壇上で話しがれると、会場は静まり返つた。事件で命を落とした被害女性(20)と同じく那覇市に住み、今回の大会で共同代表を務めた。

「面識のない私が発言する」とことで、あなたや、あなたが大切にしてきた人々を傷つけないかと日々葛藤しながら、しかし、黙り

「あなたの」とを思い、多くの県民が涙し、怒り、悲しみ、言葉にならない重くのしかかるものを抱いている」

名護市の大学に通う玉城

愛さん(21)が壇上で話しがれると、会場は静まり返つた。事件で命を落とした被害女性(20)と同じく那覇市に住み、今回の大会で共同代表を務めた。

「面識のない私が発言する」とことで、あなたや、あなたが大切にしてきた人々を傷つけないかと日々葛藤しながら、しかし、黙り

## 感じて

安全保障関連法への反対運動に取り組む若者グループ「シールズ琉球」のメンバー、「被害者は私や、私の友人だったかもしれない」と苦しんでいた。

声を詰まらせ、手やハン

カチで涙をぬぐいながら語

り続けたスピーチは約8分間。終わると、同じように涙を浮かべた参加者たちから、この大会でもっと大きな拍手が起きた。

大会で何を伝えるべき

か。玉城さんはきのきのよ

で悩んだ。たどり着いた答

えは、沖縄を軽視している

ように見える本土への怒り

だ。

「安倍晋三さん、日本本

土にお住まいの皆さん。今

回の事件の第2の加害者は

だれですか？」あなたたち

です。しっかり沖縄に向か

合っていただけませんか？

た。

「あなたが語ってくれた」

と、涙が語り合つて、今回

の事件はひとつではなか

った。

事件を知り、友人に一本

の電話をかけた。かつて米

兵と見られる外国人に暴行

されたと明らかしてくれた女

性だ。昔を思い出して苦し

つた。

砂川さんは「彼女と同じよ

うに泣き寝入りしている人

はたくさんいる。私が少し

が今回の事件後、気持ちが

変わったといふ。つらい事

件を繰り返させないため、

声をあげないといけない。

砂川さんは「彼女と同じよ

うに泣き寝入りしている人

はたくさんいる。私が少し